

週間漁海況情報—第7号

平成23年2月14日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/taffts/sc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図(H23.2.14)を示した。

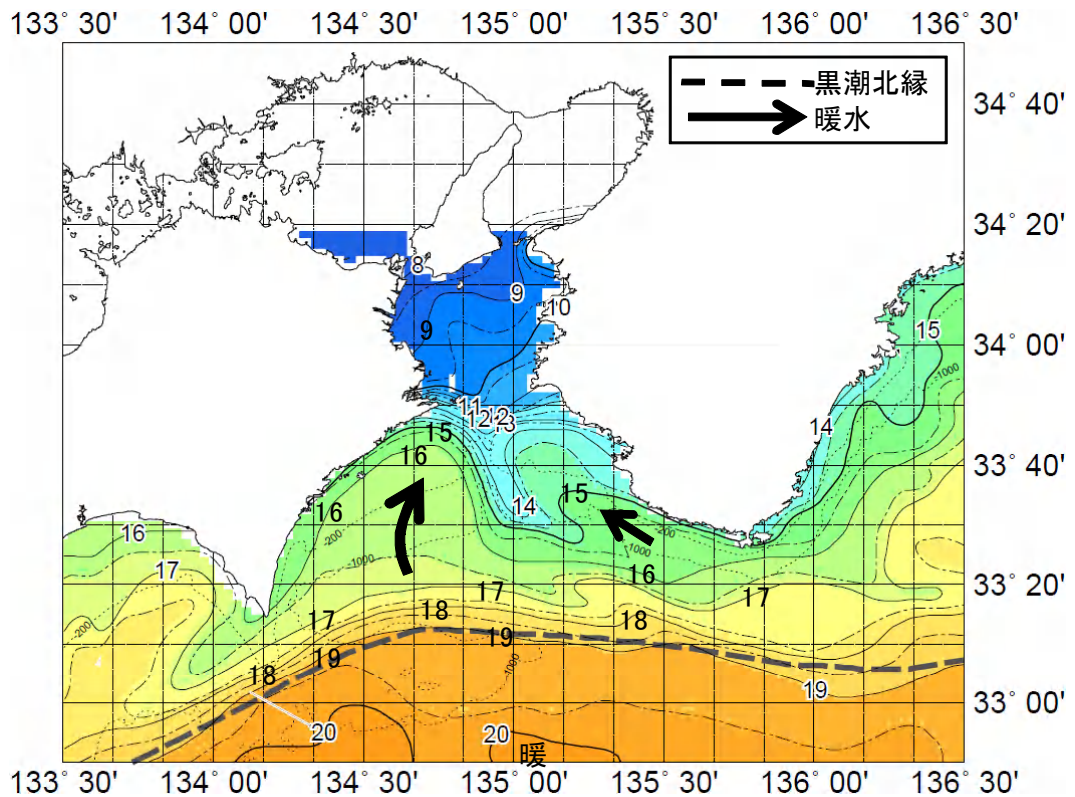
黒潮は、室戸岬および潮岬沖でやや離岸している。室戸岬以西では、都井岬沖でかなり離岸、足摺岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、19～20℃台である。

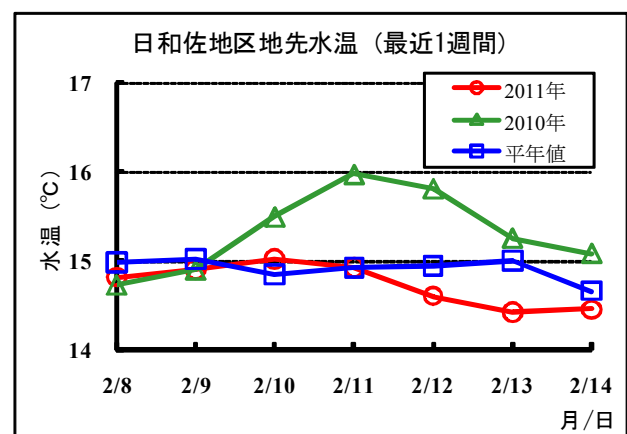
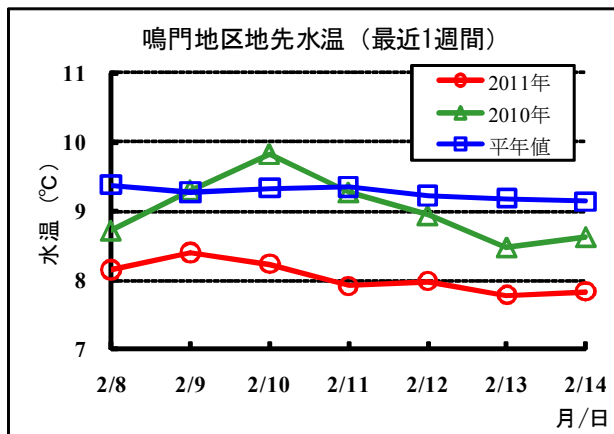
徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で7℃台、紀伊水道で7～11℃台、海部沿岸で11～16℃台である。

紀伊水道外域西側では、室戸岬から徳島県海部郡に沿ったやや強めの暖水流入があるものの、海部沿岸のごく沿岸部には15℃以下の冷水が残っている。紀伊水道東側では、潮岬から和歌山県に沿った暖水流入がある。

内海系水と黒潮系暖水との潮境は、2つの暖水に挟まれる形で蒲生田岬から伊島付近を經由した後、南東方向に確認できる。



地先水温 最近約1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」の7.8～8.4℃、日和佐地区で「やや低め」～「平年並み」の14.4～15.0℃、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の14.5～15.8℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み: ±0.49以下, やや高め(やや低め): ±0.50～1.49, 高め(低め): ±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め): ±2.50以上

2. 海況の経過

建網：海部沿岸で、中主体にヒラメが0.7トン（1日1隻当たり9kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、アオリイカが0.8トン（同42kg）、キビナゴが0.2トン（同15kg）、小主体にマルアジが0.3トン（同12kg）、メジナが0.6トン（同65kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、大・中主体にアオリイカが0.3トン（同42kg）、大主体にクロダイが0.6トン（同79kg）、大主体にスルメイカが0.3トン（同39kg）、中主体にメジナが0.4トン（同52kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.5トン（同8kg）、大・小主体にゴマサバが2.3トン（同55kg）、大主体にマアジが0.2トン（同8kg）、小主体にマサバが0.9トン（同21kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 02月07日～02月13日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
建網	海部沿岸	ヒラメ	73	653	9	中主体
小型定置網		アオリイカ	19	806	42	
		キビナゴ	16	245	15	
		マルアジ	24	291	12	小主体
		メジナ	10	645	65	
		アオリイカ	8	339	42	大・中主体
大型定置網		クロダイ	8	631	79	大主体
		スルメイカ	8	308	39	大主体
		メジナ	8	418	52	中主体
		アオリイカ	61	500	8	大主体
釣り		ゴマサバ	42	2,311	55	大・小主体
		マアジ	27	216	8	大主体
		マサバ	43	917	21	小主体

週間予報：土佐湾沖から小蛇行が東進する見込みのため室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「やや離岸」から接岸傾向で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」の7～8℃台、日和佐地先は「平年並み」の14℃台後半～15℃台で推移する見込み。

他県情報：宮崎県（2月3～9日）のパッチ網でシラス2.1トン（1日1隻・統当たり1.1トン）、定置網でブリ2.7トン（同0.4トン）水揚げされた。